

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
 します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
 たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させてい
 だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 奈良市立富雄北幼稚園
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒631-0074
 奈良県奈良市三松一丁目5-6
 E-mail : tomiokita-k@naracity.ed.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子 37 名 女子 63 名 合計 99 名
 児童・生徒の年齢 4 歳～ 5 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

【事業テーマ】

- 地域と共に育ち合う幼稚園
 - ・「大好き富雄」「大好き奈良」
 - ・今、私たちにできること

【テーマに基づく取組目標】

- ESDを進め、食育・環境教育・世界遺産教育・国際理解等に関心を持ち、地球、地域のくらしや学びを継承する幼児を育てる。
 - ・食育「しっかり食べて元気に遊ぼう」
 - ・環境教育「今、私たちにできること」
 - ・世界遺産教育「大好き富雄」「大好き奈良」
 - ・国際理解「世界は友達」「日本の伝統文化に触れよう」

【取組の視点】

- 子どもたちは、身近な「ひと・もの・こと」に触れ合う中で健やかな心と体の発達を促します。本園で取り組んでいる食育・環境教育・世界遺産・国際理解等を通して、「ひと・もの・こと」に出会い様々な経験をする中で物事に主体的に関わり、課題を解決しようとする子どもの育成を目指す。また、地域の教育力や協力を得ながら取り組む。

【取組】

- ☆食育「しっかり食べて元気に遊ぼう」
 - ＜小麦の栽培＞種蒔き～麦踏み～収穫
 - ねらい・友達と一緒に小麦を栽培し、麦踏みや脱穀することを通して食べ物を大切にする気持ちをもつ。
 - ・収穫したものを食べる嬉しさを味わう。

5月～6月 小麦の収穫をし、乾燥させる。乾燥させた小麦を根気よく一粒ずつ脱穀する。「もったいない」とこぼれた小麦を拾い大切に集める姿が見られる。脱穀した小麦を石臼でひき小麦にする。



6月の誕生会に、収穫した小麦を使ってホットケーキを作って食べる。



11月に小麦を蒔く。2月に麦踏みをする。「本当に踏んでもいいの」「踏んだらかわいそう」と、心配しながら踏んでいた。



○ 反省・評価

小麦の栽培活動を通して、食べるまでの工程を実体験したことで、食べ物を大切に扱う姿につながった。収穫した小麦を使ってホットケーキを作り、みんなで食べる喜びを味わうことができた。

<栽培活動> 食べるのが大好き

○ ねらい・四季折々の野菜や米の生長に興味や関心をもちながら世話をし、収穫を楽しむ。

・四季折々の野菜を栽培する。

夏野菜・冬野菜・小麦・ポップコーン・菜の花・米等

登園後の水やりを楽しみにしている幼児が多く、「芽がでてきた」「葉っぱが大きくなった」と、気づいたことを嬉しそうに友達に話している。

・米の花の事を図鑑で調べ、「図鑑と同じ花が咲いた」「穂がおじぎしてきた」「どんなふうにお米になるのかな」と、興味をもって毎日観察する幼児の姿が見られた。

○ 反省・評価

自分の植えたものが生長していく過程を日々見ることで、栽培物に興味や関心が高まり食べることへの意欲につながった。また、栽培物の置く場所を工夫したことで、親子で興味をもって栽培することができた。



☆環境教育「今、私たちにできること」

＜菜の花プロジェクト＞菜の花ってすごい ～ 廃油石鹼作り

- ねらい ・菜の花から種を取り出し、油が出来る様子や工程を見たり作業をしたりすることを通して循環の仕組みについて知り興味をもつ。
- ・廃油から石鹼が出来ることに興味や関心をもつ。

菜の花の種を植える



刈取り



乾かす



種落とし



油絞り



油・油粕（肥料）



廃油石鹼作り

○反省・評価

みんなで育てた菜の花を地域の方と一緒に刈り取ったり、乾燥させたりして楽しみながらかかわってきたことで、油絞りは、特に興味をもって参加した。菜の花プロジェクトを行うことで、それぞれの工程を五感で感じることができた。油粕は、畑やプランターに肥料として利用し、生活の様々な所で菜の花が役立つことを知り、環境について興味や関心がより高まった。また、菜の花が地球に優しい植物であるという気付きになった。

廃油石鹼作りは、廃油から石鹼へと変化していく様子に、興味や関心をもつことができた。保護者の協力を得ながら進めたことで、保護者の環境に対する意識も高まった。

＜もったいない運動の推進＞

水道の栓をしっかりと閉める、誰もいない時には保育室の電気は消す、紙の無駄使いはしない等保護者と共に実践している。

☆世界遺産教育「大好き富雄」「大好き奈良」

＜親子園外保育（東大寺大仏殿）＞

○ねらい ・大仏様に興味をもって、見たり聞いたりする。

- ・年少時に東大寺大仏殿に遠足で出かけているが、年長になり再度保護者と共に園外保育に出かける。保護者にも世界遺産の講演や「正倉院展」の話聞く機会を設けているが、今回は直接触れる機会をもつ。
- ・東大寺大仏殿で、奈良市教育委員会指導主事から、保護者と共に大仏様の話を聞いた後見学する。子どもたちは以前に大仏様を見ているが、説明を受けてから見ているので、「わあ、あれが白のひげがでるところ」

「鼻の穴、6個も見えないなあ」等、興味をもって友達と感じたことを話ながら見る姿が見られた。

保護者の方も「久しぶりに見て感激です」「やっぱり感動しますね」等、話していた。保護者にとっても感動体験となった。

- ・後日園外保育に参加された保護者が、東大寺の瓦粘土を使って表現活動を行う。出来上がった作品は、園内作品展に展示する。

○ 反省・評価

事前に説明を受けてから見学したことでより大仏様を身近に感じる事ができた。大仏様についての知識が増えたことで、「ぼく、大仏博士だよ」「大仏様の事どんなことでも聞いて」等自信をもつ子どもたちが増えた。

奈良にある世界遺産に関心をもつ保護者が増えてきた。



<「正倉院展」の話を聞こう>

○ ねらい ・ 正倉院展に興味や関心をもつ。

ゲストティーチャーから、正倉院展に展示される宝物について保護者と一緒に話を聞いた。出品されている写真やパンフレットを見て説明を受けた。「正倉院には聖武天皇の宝物があるんだね」「鳥が鏡の中に本当にいるみたい」「きれいな色だね」等と、友達と話している姿が見られた。

○ 反省・評価

- ・ゲストティーチャーの話を、聞いたり写真を見たりしたことで奈良には昔から宝物がたくさんある事を感じた。
- ・「子どもと一緒に正倉院展を見に行こうと思います」という声が聞かれ、保護者が正倉院展の宝物を改めて知るきっかけとなった。



☆国際理解「世界は友達」「日本の伝統文化に触れよう」

＜茶道教室＞

年4回実施。継続して行うことで、作法や礼儀が身についてきている。

4回目は、1月に初釜ふうに親子茶道教室を行う。先生のお点前を見せてもらったり、花びら餅をいただいたりした。子ども、保護者にとって日本の伝統文化に触れる貴重な体験になった。また、「お茶」の話をしていただく機会を設け、茶道教室で使っている抹茶や弁当の時に飲んでいるお茶がどうして出来るのか話を聞いたことで、古くから飲まれているお茶に関心をもつことができた。



＜剣道教室＞

最初自信なげに竹刀を持っていた子どもたちであったが、年長になると堂々と竹刀をふる姿に変わってきている。機敏性、礼儀が身についた。



＜お話の会＞

民話や世界のいろいろな国の話を聞く機会になっているので、毎回楽しみに待っている。



- 本園で取り組んでいるESDを進め、食育、環境教育、世界遺産学習、国際理解を通して、「ひと・もの・こと」に出会い様々な経験をする中で、子どもたちは、興味や関心をもって取り組み、生き生きと生活する姿が見られ心豊かな子どもたちに育ってきている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）